

花乃井だより

学校
通信

令和4年10月22日(土)

第104号

大阪市立花乃井中学校

「○○の秋」深まる!!

「スポーツの秋」「芸術の秋」「食欲の秋」等々…、皆さんは○○に何が入りますか？朝晩の冷え込みが厳しくなり、すっかり秋が深まってきた昨今です。9月末には中学校体育連盟の秋季総合体育大会や10月初めには中学校文化連盟の総合文化祭が開催されました。本校でも大会に出場したり、展示に出品したりと部活動のメンバーが頑張ってくれました。また、校内でも文化祭を行いました。

総合文化祭では、コーラス部の合唱をはじめ、吹奏楽部の演奏、英語部の暗唱、書道部のパフォーマンス等々、多彩な舞台が披露されました。展示部門では、茶道部によるお点前や社会科部、科学理科部、写真部、美術部、家庭手芸部、華道部の作品等々が披露され、将棋部の対局や、ロボットコンテストのデモンストレーション、パソコン部の体験コーナー等もあって、とても盛りだくさんでした。まさに個性が躍動するひと時でした。

個性といえば、先日、パラリンピックキャラバンで車いすバスケットボールを体験しました。その時に選手の方々がおっしゃっていた言葉が印象に残りました。「障害のあるなしではなく、個人としてできることとできないことがあるということをお互いに理解し、その壁を乗り越えて、誰もが普通に生活できる社会をつくりていきたい」ということ。「障害があるからできない、障害がないからできる」ということではなく、「障害があっても障害がない人以上にできることもある。また、その逆もある。」それを個性ととらえて、一人ひとり違っているからいいんです。みんな同じでは画一的になって良いものはできません。「違いを認め合って乗り越えていく」ことが大事なことですが、これがなかなか人間はできないのです。違いを認めずバカにする。他者を受け入れない、排除する…。いじめを生み出すこともしばしばです。自分勝手な「ものさし」で測ってばかりで、他は許さない。これでは本

文化祭2日目

当の社会は成り立ちません。これらを乗り越えることを学んでいくのも学校生活なのです。

圧巻のクラス合唱コンクール!!

文化祭2日目。クラス合唱コンクールは今年も熱き思いが伝わる見事なものとなりました。どの学年



も練習時間や練習場所がない中、工夫して一生懸命に練習してきた成果がよく表れています。私見ですが、まず合唱もさることながら、伴奏者のレベルがとても高かったように思います。前奏からすでに鳥肌が立つという場面が多々ありました。また、指揮者も体全体を使って表現し、表情の豊かさがとても印象的でした。両者ともにとても緊張していたことでしょう。その懸命な姿にクラスの皆も付き従って一生懸命に歌うことでお互いが高めあうことができたのだと思います。その成果として、きれいな高音、力強い低音、効果的な抑揚等々、とても良い合唱となりました。

特に3年生はどのクラスも審査が拮抗していてほぼ同点という結果になりました。また今回は2年生のレベルもなかなか高かったです。すでに来年が楽しみになってきました。1年生も元気いっぱいの合唱が胸を打ちました。どのクラスも指揮者をしっかりと見て声を出していました。マスクで口の動きはわからなかったけど、大きく口を開けているであろうことは、そのマスクの動きで十分にわかりました。いずれにしても花中の皆さん、今年も大きな感動をありがとうございました。



学校公開日・学校説明会を開催しました。

文化祭の期間中は学校公開日とし、9月29日(木)には学校説明会を行いました。来年度の入学予定者(現小6生)を対象とした説明会でしたが、やはり校区外からの参加者が多かったです。本校での取組みや生徒たちの様子、工事関係の今後の予定等を説明しました。部活動や登下校に関する質問等がありました。来年度の新1年生の入学が楽しみですね。

